

町に元気を。

第1号

令和元年 8月発行

発行：牛山もとき後援会

発行責任者：中島幸孝

富士見町議会議員

牛山もとき

やる気、元気、もとき！の活動だより

みなさんこんにちは。町議会議員牛山基樹です。

新しい時代の幕開け「令和」と時を同じくして

新しい富士見町議会が始まりました。

4月22日の当選証書付与式では

大勢の皆さんから付託された票の重みを噛みしめて

信念の通り、議会活動に望むことを誓いました。



これからの活動は、自分のことよりも皆さんの暮らしが、豊かさを実感できる為のものにならなければいけません。初心を忘れず「富士見町の元気」づくりのために、出来ることを一歩ずつ実践していきます。新人らしく素直に疑問解決の為に、行動力を持ち謙虚な姿勢で耳を傾けていく所存です。

議会では「総務経済常任委員会」を希望し、副委員長を拝命しました。

そして議会広報編集委員長、議会改革実行委員長の大役にも日々精進しています。大変な職務ですが、富士見町議会基本条例が目指す『町民に開かれた議会』『町民参加型の議会』の根幹をなすポジションなので、新人ではありますが新人だからこそ感じる疑問には厳しく、ギアを高めに入れてアクセル踏むつもりです。

さて9月議会では公約にした、商業・観光・農業の振興の一体感、元気と賑わいのある町づくりを町の施策に反映できるように全力で取り組むつもりです。

富士見町議会議員に選任後、2回の町議会が開催されました。

第501回5月議会臨時会 [5月16日]

第502回6月定例議会 [6月7日～18日]

5月議会では議案第1号から7号までの専決処分案件、
第9号富士見町監査委員の選任人事案件については
「賛成」。

第8号富士見森のオフィス交流棟改修工事請負契約の
締結について「反対」 ※詳細は裏面に記載しました

6月定例議会では議案第1号から議案第9号までの
中で、議案第7号令和元年度富士見町一般会計補正
予算について、テレワーク推進事業について反対意見
を述べ「反対」とし、他は「賛成」しました。

やる気、元気、もとき！の活動だより

初質問

一般質問では、タウンミーティングや町民の皆さんから寄せられた声を中心にはズバリ聞きました。

※詳細は、議会だより 158 号『町の考えを問う』を是非とも詳しく読んでいただきたいです。

質問
1

『町長の考える町の幹部職員の人事考課について』

なかなか聞きにくいデリケートな質問ですが、タウンミーティングでも町長に聞いて欲しいという声も届いていたので聞いてみました。継続的な評価を町民目線で続けることが肝心ですね。

質問
2

『成果を出すシティープロモーションについて』

事業のゴールと目的について聞きました。交流人口の増加や移住定住者を獲得するために、人的な交流を活性化させることや、富士見発の地域ブランドを町外に向ける PR 方策について質問しました。

“ 地方創生という名の、テレワーク推進事業に伴い… ”

※表面 第 501 回 5 月議会臨時会 について

「森のオフィス」に関連する案件についてばかり反対となっていて、牛山は『反・森のオフィス』じゃないか？なんて憶測を呼んでいますが、富士見町にとってテレワーク事業やコワーキングスペースはとても魅力的な事業で、森のオフィスの存在が町に寄与する影響の大きさを認めています。

事業についての必要性も、活動の評価も、今の価値についても私は認めています。

反対しているのは町営の施設だからこそ、**公金の使い方、補助金ありきの税金の使い方についてです。**

補助金があるから活用して活性化するのは、『一つの知恵』なので反対ばかりではありません。しかし税金を投入する以上は、運営の計画はもとより**「事業体の組織化」と「運用の効果」、それに伴う「決算」**を同時に検証し進行していくかないと、町有の一事業体に対するお金の使い方について、町民との考え方の間には不透明感が生まれます。

森のオフィスは「場所」であって、それ自体が法人でも企業でもないので、より分かり難くなってしまっているのも事実。効果に対しての評価に温度差が広がってしまう要因にもなっていますよね。

「森のオフィスっていったい何なんだ？」と問われたとき、その実態が見えにくいのが残念です。

森のオフィスの評価について、移住者がどれだけ増えたかも大事ですが、大きなお金が投入されてきた訳ですから、これからはどれだけ富士見町の業者に仕事として還元できているのかも検証していきたいと考えています。

9月5日より9月定例会が始まります。

一般質問は9日、10日 9時からの開始になります。健全な発展には、町民の町政への関心が必要です。身近な疑問でも構いません、くらしの発展のために共に考えませんか。議会への傍聴にご参加ください。

